

関西支部シニア会活動報告

行事名	第 25 回 特徴ある技術を有する企業見学会
開催日時	2025 年 6 月 10 日 (火) 14:00~16:30
場所	株式会社クボタ 堺製造所 (堺市堺区石津北町 64 番地)
参加人数	シニア会員 17 名
行程	14:00~14:05 ご挨拶 14:05~14:50 堺製造所の紹介 15:00~16:10 製造ラインの見学, トラクタを背景に記念写真 16:10~16:30 質疑応答
内容と感想	1) (株)クボタ 堺製造所の紹介 (勤務部 勤務課 二俣氏) 最初に会社説明を動画で紹介された。(株)クボタは「食料」「水」「環境」分野で課題解決に挑み続けるテーマとして, クボタ・グローバル・ループを掲げている。1890 年 (明治 23 年) に鋳物メーカーとして操業後, 堺製造所は 1937 年 (昭和 12 年) に農工用石油発動機の専門工場として操業を開始以来, 各種農業機械, ディーゼルエンジン, ガソリンエンジン等の開発・生産を行い, 現在はマザー事業所としての役割を果たしている。次のトラクタの動画では, 小型トラクタ (11~20HPS), 大型トラクタ (49~170HPS) の製造工程が紹介された。最後に大型エンジンの動画では, 各種ディーゼルエンジン, 小型建設機械の紹介があり, 販売比率は約 80% が海外向けとなっている。 2) エンジン, トラクタの製造現場見学 (堺エンジン製造部 古久保氏, 本機製造部 濱崎氏) 工場内は部品を AGV (無人搬送車) で搬送するなど, 無人化を進めている。また AI カメラや必要部品をランプで点灯するピッキングシステムなどの導入で, 工程集約や加工改善に貢献していると説明があった。基本は「人づくり」であり, 5 ゲン主義と呼ぶ改善活動の成果であり, 国内外の従業員が体得している。トランスミッションは公道走行から超低速走行までカバーするため 36 段になる。現状は手動変速 (マニュアル) が基本だが遊星ギアを使った無段階変速機 (オートマ) も増えつつある。 3) 所感 活発で詳細な質疑応答が行われ, 丁寧にご回答いただいた。競合他社との比較や国内外の工場との原価低減競争, 女性従業員比率の低さ, 電動化への対応など様々な課題に真摯に向き合う姿勢を実感した。「特徴ある技術を有する企業見学会」の趣旨に沿う見学会となり, 参加した会員にとって新たな発見があった有意義な半日となった。 以上



会議室での様子（谷川会長の挨拶）



集合写真（大型トラクタの前で）